



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社パイロットコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 7846 URL <https://www.pilot.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤崎 文男
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 寺田 治信 (TEL) 03-3538-3700
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年12月期第1四半期	28,799	5.1	2,980	△39.1	4,114	△21.7	2,700	△25.4
2023年12月期第1四半期	27,407	4.5	4,892	5.3	5,251	△1.6	3,622	7.7

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 4,930百万円(14.1%) 2023年12月期第1四半期 4,319百万円(△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	68.46	—
2023年12月期第1四半期	91.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年12月期第1四半期	172,277	135,285	77.4
2023年12月期	166,468	132,345	78.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 133,269百万円 2023年12月期 130,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	53.00	—	53.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	121,000	2.0	20,000	5.2	21,000	0.8	14,000	2.5	359.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想は行っていません。

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得及び消却の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期1Q	41,814,400株	2023年12月期	41,814,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	2,364,966株	2023年12月期	2,364,966株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期1Q	39,449,434株	2023年12月期1Q	39,449,434株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2024年12月期1Q18,827株、2023年12月期18,827株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております (2024年12月期1Q18,827株、2023年12月期1Q18,827株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトにて掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年1月1日~2024年3月31日)における経済環境は、国内においては、コロナ禍後の個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要の拡大が見られる一方、海外においては、物価高騰は沈静化しつつありますが、各国の金融引き締め政策は継続しており、また長期化するウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化の地政学リスクの影響等により、世界経済の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、国内では、筆記具市場は堅調に推移しました。海外では、米ドルやユーロ、中国元に対する円安は追い風となりましたが、前期より引き続き先進国の主要マーケットの需要は低調に推移しました。また、『2030年ビジョン』に向けて持続的な成長を実現するために、未来に向けた投資を拡大していることから、労務費や減価償却費等の費用は増加しました。

この結果、当期間の連結売上高は287億99百万円(前年同期比105.1%)となりました。国内外別では、国内市場における連結売上高は74億13百万円(前年同期比110.4%)、海外市場における連結売上高は213億85百万円(前年同期比103.3%)となりました。中期経営計画に基づく事業別実績では、筆記具事業における連結売上高は258億89百万円(前年同期比103.2%)、非筆記具事業における連結売上高は29億9百万円(前年同期比125.4%)となりました。

また、損益につきましては連結営業利益が29億80百万円(前年同期比60.9%)、連結経常利益が41億14百万円(前年同期比78.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億円(前年同期比74.6%)となりました。

(参考URL 当社中期経営計画 <https://www.pilot.co.jp/company/ir/management/plan.html>)

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、各地域セグメント利益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(日本セグメント)

ステイショナリー用品事業においては、国内販売ではインバウンドやノベルティ関連が、引き続き人気を集めました。店頭では昨年末に発売した「フリクションWaai(ワイ)」が新たなターゲット層である若年層に販売好調であり、また「ジュース クラシックカラー/くすみカラー」といった既存商品の新色追加も好評を得ました。その他、新学期に合わせ、「フリクションシナジーノック」の発売や、「アクロボール」のデザインアップデートを行い市場の活性化に努めました。今後の市場定着が期待されます。さらに、前期より当社グループとなった、手帳・ノート類等のデザインステイショナリーの企画・製造を行うマークス社の売上也貢献しました。一方、輸出においては、フィリピン等のアセアン諸国への売上が減少しました。

玩具事業においては、主力商品である「メルちゃん」シリーズや「おふろのおもちゃ」シリーズが好調に推移し、売上は増加しました。

産業資材・その他事業においては、産業資材事業の主力のセラミックス製品は半導体市況回復の兆しはあるものの、受注回復までには至らず、減収となりましたが、その他事業でマークス商品が売上に貢献しました。

セグメント利益は、労務費や広告費等の販管費は増加しましたが、子会社化したマークス社及び円安の影響により増益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は94億91百万円(前年同期比104.9%)、セグメント利益は43億22百万円(前年同期比117.4%)となりました。

また、当セグメントにおける主要な事業の売上高につきましては、ステイショナリー用品事業は80億45百万円(前年同期比102.8%)となり、玩具事業は6億77百万円(前年同期比115.5%)、産業資材・その他事業は7億68百万円(前年同期比121.1%)となりました。なお、ステイショナリー用品事業の内訳は、筆記具が70億6百万円(前年同期比98.9%)、文具・その他が10億38百万円(前年同期比139.8%)となりました。

(米州セグメント)

米州地域につきましては、米国市場において、量販店の在庫コントロールを受けながらも、主力製品である「G-2 (ジーツー)」は引き続きゲルインキボールペン市場でトップシェアを維持し、またブラジル市場においては、ホワイトボード用マーカー「Vボードマスター」を中心に伸長した結果、円安の影響も加わり、セグメント全体の売上は増収となりました。セグメント利益は、労務費や広告費等の販管費増加により減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は82億97百万円(前年同期比102.8%)、セグメント利益は1億24百万円(前年同期比35.8%)となりました。

(欧州セグメント)

欧州地域につきましては、市況の完全な復調には時間がかかっていますが、欧州市場での主力製品である「フリクション」シリーズ等の売上が回復してきたこと、また円安の影響から売上は増収となりました。しかしながら、セグメント利益は、労務費や広告費等の販管費増加により減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は59億87百万円(前年同期比111.2%)、セグメント利益は2億86百万円(前年同期比97.2%)となりました。

(アジアセグメント)

アジア地域につきましては、中国において景気低調が継続したことに加え、その他の国においても主力製品のゲルインキボールペンの売上は減少しましたが、円安の影響からセグメント全体は増収となりました。セグメント利益は、労務費や広告費等の販管費増加により減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は50億21百万円(前年同期比102.4%)、セグメント利益は1億67百万円(前年同期比55.4%)となりました。

以上、各地域セグメント利益の合計は49億円(前年同期比106.0%)と増益となりましたが、連結調整額が△19億20百万円(主に棚卸資産に係る未実現利益の増加)となったことから、連結営業利益は29億80百万円(前年同期比60.9%)となりました。なお、未実現利益の増加は、前期末と当第1四半期連結会計期間末日の為替レートの差異や新学学期商戦に向けた在庫積み増し等によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比58億8百万円増加し、1,722億77百万円となりました。

流動資産は、24億35百万円増加し1,095億73百万円となり、固定資産は、33億73百万円増加し627億3百万円となりました。

流動資産につきましては、「現金及び預金」が17億17百万円、「受取手形及び売掛金」が22億34百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、有形固定資産が20億7百万円、「投資有価証券」が7億17百万円、「繰延税金資産」が5億47百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末比28億68百万円増加し、369億91百万円となりました。

流動負債は、30億4百万円増加し345億72百万円となり、固定負債は、1億36百万円減少し24億19百万円となりました。

流動負債につきましては、「短期借入金」が17億67百万円、「未払法人税等」が5億7百万円、「賞与引当金」が8億2百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比29億40百万円増加し、1,352億85百万円となりました。これにつきましては、「利益剰余金」が7億27百万円、「為替換算調整勘定」が17億円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日に公表しました連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,171	40,889
受取手形及び売掛金	24,243	26,477
商品及び製品	24,222	25,246
仕掛品	8,324	8,255
原材料及び貯蔵品	4,749	4,810
その他	6,512	3,992
貸倒引当金	△86	△98
流動資産合計	107,138	109,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,462	30,798
減価償却累計額	△15,985	△16,388
建物及び構築物(純額)	14,476	14,409
機械装置及び運搬具	39,999	41,170
減価償却累計額	△32,793	△33,429
機械装置及び運搬具(純額)	7,205	7,741
その他	21,199	21,227
減価償却累計額	△18,211	△18,224
その他(純額)	2,988	3,003
土地	7,608	7,646
建設仮勘定	5,612	7,099
有形固定資産合計	37,891	39,899
無形固定資産		
借地権	5,355	5,355
その他	973	998
無形固定資産合計	6,328	6,353
投資その他の資産		
投資有価証券	7,860	8,578
繰延税金資産	3,371	3,919
退職給付に係る資産	2,862	2,942
その他	1,047	1,042
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	15,109	16,449
固定資産合計	59,330	62,703
資産合計	166,468	172,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,148	11,555
短期借入金	1,728	3,496
1年内返済予定の長期借入金	409	380
未払費用	2,901	2,941
未払法人税等	1,602	2,110
賞与引当金	718	1,520
役員賞与引当金	65	14
その他	11,992	12,553
流動負債合計	31,567	34,572
固定負債		
長期借入金	494	382
繰延税金負債	389	357
役員退職慰労引当金	131	110
環境対策引当金	48	48
役員株式給付引当金	47	54
退職給付に係る負債	720	755
その他	723	710
固定負債合計	2,555	2,419
負債合計	34,123	36,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,340
資本剰余金	7,923	7,923
利益剰余金	129,116	129,843
自己株式	△10,858	△10,858
株主資本合計	128,521	129,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,187	1,656
為替換算調整勘定	276	1,977
退職給付に係る調整累計額	423	387
その他の包括利益累計額合計	1,887	4,021
非支配株主持分	1,936	2,015
純資産合計	132,345	135,285
負債純資産合計	166,468	172,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	27,407	28,799
売上原価	12,779	14,916
売上総利益	14,627	13,882
販売費及び一般管理費	9,735	10,902
営業利益	4,892	2,980
営業外収益		
受取利息	114	176
受取配当金	8	7
為替差益	219	917
その他	98	92
営業外収益合計	441	1,193
営業外費用		
支払利息	66	44
その他	16	14
営業外費用合計	82	59
経常利益	5,251	4,114
特別利益		
固定資産売却益	20	8
投資有価証券売却益	273	-
受取補償金	197	-
特別利益合計	492	8
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	16	6
災害による損失	-	13
土壌改良費用	-	20
特別損失合計	16	40
税金等調整前四半期純利益	5,726	4,081
法人税等	2,054	1,337
四半期純利益	3,672	2,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,622	2,700

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	3,672	2,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	483
為替換算調整勘定	592	1,738
退職給付に係る調整額	25	△35
その他の包括利益合計	647	2,185
四半期包括利益	4,319	4,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,250	4,834
非支配株主に係る四半期包括利益	68	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	報告 セグメント 計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	9,049	8,070	5,385	4,901	27,407	—	27,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,715	13	0	—	10,729	△10,729	—
計	19,764	8,084	5,385	4,901	38,136	△10,729	27,407
セグメント利益	3,680	347	294	301	4,623	268	4,892

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	報告 セグメント 計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	9,491	8,297	5,987	5,021	28,799	—	28,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,521	—	—	—	12,521	△12,521	—
計	22,013	8,297	5,987	5,021	41,321	△12,521	28,799
セグメント利益	4,322	124	286	167	4,900	△1,920	2,980

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき自己株式を取得するとともに、会社法第178条の規定に基づき自己株式の一部を消却することを決議いたしました。

(1) 自己株式の取得及び消却を行う理由

資本効率と財務健全性を総合的に勘案し、企業価値向上と株主還元観点から自己株式の取得及び消却を行うものであります。

(2) 取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 1,000,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.53%) |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 40億円(上限) |
| ④ 取得する期間 | 2024年5月20日～2024年10月31日 |
| ⑤ 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(3) 消却に係る事項の内容

- | | |
|-------------|-----------------------|
| ① 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却する株式の数 | 上記(2)により取得した自己株式の全株式数 |
| ③ 消却予定日 | 2024年11月29日 |